

⑦排水路の急激な水位上昇を防ぐ「田んぼダム」の利用

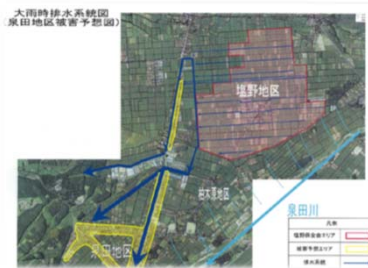
【山形県 塩野地域資源保全会】

○大雨の際、水田に雨水を一時的に貯留し、時間をかけてゆっくり排水することで河川や排水路の急激な水位上昇を防止。

○下流の農地や住宅地の浸水被害の軽減に寄与。

地域概要

- 塩野地域は、山形県の新庄盆地の北部の扇状地に広がる208haの水田地帯。
- 地形上、排水路が一箇所に集中する構造となっており、近隣住宅地や転作田への浸水被害が慢性的に発生。



排水系統図
(出典：塩野地域資源保全会提供資料)

対策の背景

水田がもつ多面的機能に着目した排水不良対応

- 平成24年に水路の拡幅工事が行われた。浸水被害が軽減されたのを契機に地域でも課題解決に何か取り組めないか検討。
- 多面的機能支払交付金の活動組織が設立され、水田が持つ多面的機能に着目し、「田んぼダム」の取組に着手。



過去の被害状況
(出典：塩野地域資源保全会提供資料)

対策の内容・結果

【田んぼダムの取組】

- トラクターやバックホウで畦畔の嵩上げを実施（畦畔高さ30cm）。
- その他、水田の排水口に水位調整管として塩化ビニール管を設置。止水板や土のうを使用して排水口の絞り込みを行い、徐々に排水を行う。
- 上記作業は地域内の農家が担っており、地域に密着した取組となっている（毎年春先に作業従事者を募集）。
- 地区内の農家28戸の協力を得て、これまでに計543のほ場で実施。

【その他の活動】

- 保全会では、交付金を利用して、農道整備の他、水路の補修等の維持管理活動も実施。
- また、夏期には、地域の子ども会を対象に、生き物調査を実施。

- 田んぼダムの取組を行ってから、現在に至るまで、大きな被害は生じていない。
- 地域の農家からも今後も実施していきたいとの声が上がっている。



止水板による止水状況
(出典：国土強靱化民間の取組事例集)



トラクターによる畦畔の嵩上げ
(出典：国土強靱化民間の取組事例集)